

平成30年度 重点課題について

● P E E Rカリキュラムの推進について

グローバル化や情報化が進む変化が激しい社会で生き抜いていく力をとだっ子に身に付けるため、産官学民との連携により、問題解決能力や思考力、コミュニケーション能力などの「21世紀型スキル」「汎用的スキル」「非認知スキル」を、小中一貫した本市独自の教育カリキュラムにより育成する。

・ Programming「プログラミング教育」

プログラミング教育とは、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる「プログラミング的思考」などを育む日常的な学びである。

本年度は、小学校1学年から中学校3学年までの9年間一貫のプログラミング教育カリキュラムを作成・実施し、論理的に考える力である「プログラミング的思考」を育む。

・ English「英語教育」

グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、生涯にわたる様々な場面で必要となることが想定されている。

小中一貫した英語教育推進プランに基づき、小学校ではモジュール形式の短時間学習の充実を図り、中学校では「戸田市版CAN-DOリスト」を活用したオールイングリッシュの授業改善を進め、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力や国際性を育む。

・ Economic Education「経済教育」

経済教育とは、「社会の仕組み」や「経済の働き」について、身近な題材を通して体験的に学び、よりよい生き方について考える日常的な学びである。

学習活動の中に、必然的に「選択」や「意思決定」が求められる機会を与え、児童生徒に「考える習慣」と「質の高い選択ができる力」を育む。

・ Reading Skills「リーディング・スキル」

Reading Skillsとは、未知のテキストを読み、未知の概念と自分の知識を理論的に結びつけながら理解していく力である。具体的には教科書や新聞、マニュアルや契約書などの文書の意味及び意図を、迅速かつ正確に読み取ることができる力である。

リーディング・スキルを効果的に向上させる指導法の調査・研究を進め、すべての児童生徒が教科書を正しく読める「読解力」を育む。



プログラミング授業(小6)



オールイングリッシュの授業(中1)



経済教育授業(小5)



リーディング・スキルテスト(小6)

● いじめ根絶の取組について

本市では、市、学校、家庭、地域が連携し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために、平成29年8月「戸田市いじめ防止基本方針」の改定を行った。「いじめはどの学校にも、どの子供にも起きている」という基本認識の下、児童生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめがなくなることを目指して、いじめ防止等のための対策に取り組むことが重要である。

本年度も、いじめ対応プログラムやいじめ問題を考える道徳授業の実施、児童会・生徒会による自主的ないじめ防止の取組(いじめ撲滅強調月間)等、いじめ根絶を加速・推進させる「戸田市いじめ根絶ピースプロジェクト」を実施する。

● 不登校児童生徒への支援について

平成29年2月14日に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が施行された。不登校児童生徒への支援については、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指すこと、「学校に登校する」という結果のみを目標にしないこと、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことなどの視点が重要であると示された。また、生徒指導面からの指導だけではなく、教育相談や特別支援教育、ユニバーサルデザインの視点に立った支援も必要である。本年度は、学校や教育センターのみならず、外部機関とも連携した不登校児童生徒への支援についても研究を進める。

● 「小中一貫教育」の推進について

戸田市では、とだっ子の9年間を見通した切れ目のない教育を推進するために、中学校区ごとに「目指す児童生徒像」や「重点目標」を設定・共有している。

本年度も、学力向上や生徒指導面で共通理解を図った指導方法の工夫・改善、小中合同引き渡し訓練の実施、中学校区合同教員研修会の実施、学校行事等における児童生徒の交流等の取組を積極的に進める。